

平和集会（校長あいさつ）

まずは、生徒の皆さんに『お礼』の言葉から、この集会のあいさつを始めます。先日の『原爆殉難教え子と教師の慰霊式』に際しては、皆さん方の心を込めた折鶴をつくっていただきました。その代表として小林さんや柿本くんが平和実行委員長・副委員長として奉献してくれました。また、その他の実行委員の皆さんも献花をされました。主催者・関係者の多くの方から**「生徒さんに、“ありがとう”と伝えてください。」**と言われました。

さて、79年前1945年の今日、長崎に原爆が投下されました。・・・と説明するよりも皆さん方が今まで学習したことを考えると説明は不必要であると考えます。

●冥福を祈る ●残虐性を理解する ●平和を築こうと意識する
この3つの目的のもと今回の平和学習が行われています。そして、まとめとして、今日の集会があります。

そこで、今日の集会の最初のあいさつとして、先程述べた『ありがとう』という言葉の意味を掘り下げてお伝えします。勿論、感謝の言葉の意味もあります。

それ以外の意図として、キーワードは**「担い手」**です。

将来を託す生徒の皆さんに、「しっかりと継承してください。」と言われて
います。今回の『継承』とは、実際には体験していないことを経験してきたようになるまで、しっかりと学び、何かを実践し、伝えることです。

今回の『担い手』とは、平和という荷物を担ぐ人のことです。

この集会が、平和を願う全ての思いをしっかりと受け止める機会となることを期待して、あいさつとします。

長崎市立三川中学校 校長 神 尾 進 二